

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2024年3月1日号 288号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【3月の予定】

- ◆3月9日（土）（雨天翌日）
・花広場整備
- ◆3月23日（土）（雨天翌日）
・竹林整備
* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆3月2日（土）（10:00～12:00）
・ママユ連・手作りカフェ
平和台集会所
問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※※

緑地だより

※※※※※※※

2月10日 晴 参加者11名

今日は日陰に月曜日の雪が残る中、作業開始。
桜広場の古木の梅の剪定と、竹林の整備。

梅は上に真っ直ぐに伸びている枝や枯れた枝を切る作業。梅がチラホラ咲き始めているので良い香りを楽しみながらも、結構な枝数。竹林は細すぎる竹や枯れた竹を切り倒し、枝を払って雑木林の片隅に片付け。思いの外どちらも中々の仕事量。

作業時間が終わる頃、小学生の男の子がカブトムシの幼虫を採取に。一生懸命落ち葉腐葉土をかけ分けゲット！大切に育ててくれる事でしょう。花広場を通り、花桃の木が倒れている。雪の影響か、しかし今日の作業では時間が足りず別日に作業予定。雪の後は緑地もダメージが多い。

（片野）

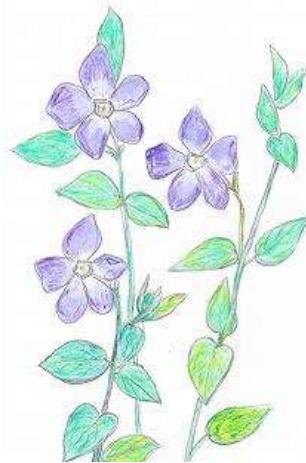


刈り取った竹の処理



山道に落ちていた巨大枝。歩いていくときに落ちてきたら・・・怖っ！

【緑地に実る】ツルニチニチソウ（蔓日日草）



キョウチクトウ科の常緑蔓性植物。
花は春から初夏にかけて立ち上がる茎の葉腋に青や白の花を咲かせます。株から多数の茎をのばして蔓状に匍匐しながら成長する多年草。伸びた蔓の節から根が出て広がっていきます。

（長谷部）

2月24日 晴 参加者9名

雨続きが4日ぶりに晴れて、お日様が嬉しい。作業はまず、枝拾いから。風雨のあとは小枝だけでなく、3m以上の枝も落ちている。特に散策の道はきれいに拾い、何箇所かに集める。

その後は桜広場に行き、道路沿いの常緑樹の剪定。中木だが5本位あるので、切り落された枝はかなりの量になり、となりの竹林に山にしてまとめる。桜広場の梅が満開から散り始め、枯れ草にかわいい花びらがひらひらと。

首が痛くなるほど見上げれば、梅の隣に古木の桜が、梅の木に話しかけるように枝を垂らしている。あと半月もすぎれば桜が楽しめるんだなあ。

終って体操を軽くやり、Kさんお手製のおいしい月餅をいたいでティータイム。

（宮崎）

♥今日は雪や風による倒木などもあり、2回ほど臨時作業を行いました。♥

2月12日（月） 臨時作業 参加者4名

2月5日に降った雪の重さと翌日の強風で、花広場のハナモモが倒れてしまった。毎年春先に濃桃色のふっくらした花を咲かせ、春を実感させてくれていた。花広場は以前にテニスコートだった事もあり、痩せた土壌で、硬い土だったので、根を深く張る事が難しかったのだろう。

地上50センチ程のところで切り倒した。切り口の年輪を見ると24歳ぐらいだ。

根はまだ生きているようだったので、暖かなつたら切り口から新芽が伸びてくるかもしれない。いつかまた春を告げる花を付けてくれる事を願っている。



(かつた)

年輪は24本くらい？

2月28日（水） 臨時作業 参加者7名

晴れて気持ちの良い朝。花広場の整備、花広場から桜広場への斜面通路の崖側に七子垣（ななこがき）を設置し、落枝の多い場所には「落枝注意」の看板をたてる。
(宇野)

※ 七子垣…魚子垣とも書き、竹ひごを半円形に曲げて波状に地面に差し込んだ垣根のことです。



七子垣で、安心して通行できます。

鶴2小の子ども達が緑地に

2月1日に、鶴2小の4年生のうち、森班と川班の合計34名の子ども達が、緑地に遊びにきました。いくつかに分かれて、花広場のほうに登っていく子ども、下の方の山斜面を探検する子どもと、みんなワクワクドキドキ。カブトムシがいる堆肥場も紹介しました。特に遊具などもない緑地ですが、帰る時はみんな弾んだ表情で、「おもしろかったね～」という声も聞こえました。

緑地の作業の時はカブトムシ大好き少年がお父さんや弟と一緒に来訪、カブトムシの幼虫をゲットして帰りました。

2月13日は、森班の子ども達が緑地を再訪。この時は森班のマップグループと危険グループの7名でした。緑地マップに写真を添えるためにいろいろな箇所の写真を撮っていたのはマップグループ、それに対して危険グループは緑地の危険箇所をチェックしていました。

3月7日に報告会があるそうです、どんな報告が出来てくるのか、楽しみです。

(小川)

- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。
怪我しないよう十分に気をつけて楽んでください。
- ◆ ご意見がありましたらnishiryokuchi@gmail.comまで
「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）

<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.comまで

【緑地を楽しむ本】



『食べる』
月刊たくさんのふしひ 2024年1月号 第466号
藤原辰史・文 スケラッコ・絵
福音館書店

「夜の7時、窓の外はすっかり暗くなった。あなたはいま、椅子にすわってごはんを食べている。…（中略）…あなたは、家の中でしづかにごはんを食べている。」こんな文章で始まり、「でも」と続いてゆきます。

ここから筆者の語る「食べる」という、とってもにぎやかな「世界」が広がっていきます。まずは五感を使って楽しめる、おいしさ、美しさ、歯ごたえ。そしてその食べ物に

まつわる思い出、さらに生産者へ、そしてその歴史へと。体内に入れば、微生物たちが大活躍です。

「あなたのからだのなかを、毎日毎日、水と塩と食べものになった生きものが通りぬけていく。…わたしたちのからだを、地球がゆっくりと通りぬけていくのだ。」

「食べる」喜び、楽しさ、尊さに気づかせてくれる本です。

（遠藤）

【やままゆ連・手作りカフェ】

リメイク・ショー & あやとり

2月3日（土） 10：00～12：00 平和台集会所

今月の手作りカフェは、立春の日にふさわしく春うららの暖かな日でした。

今回は着物のリメイク作品を持ち寄り、これから手掛ける初心者のために作り方を説明したり、あれこれ着用してファッショショードも開催。

箪笥で眠っている着物を活かして日常着に生まれ替われば、素晴らしいですよね。

その後、前回のオハジキ遊びが楽しかったので、今回はあやとりをやりましょう！となりました。昔取った杵柄で、勝手に手が動いてくれるはず…と思いきや、アレッ？アレッ？途中で手が止まってしまいました。それでも、シッカリ覚えてる方もいて、見ていると何となく思い出しました。二段梯子、箪、滑り台、飛行機、亀。一人あやとりで基本型から始まり、ダイアモンド、鼓、船、吊り橋が出来ます。

現代の様にゲーム機もケータイもなかった私達世代の女の子達は、室内でおはじき、お

手玉、あやとり。戸外ではゴム跳び、まりつき、大縄跳びなどで遊んだものでした。室内では指先に神経を集中させ、外では身体全体を使って遊びました。

現代のゲーム機やケータイを握り締めてる子供達と比べると、何とバランスの良い遊び方をしていたのでしょうか。

帰宅後、ケータイの動画を見ながら、あやとりの復習をしました。昔なかった文明の利器を上手に使って脳トレに励むことにします。

（藤井）



着物リメイクでシルバーファッションショー